

北九州市子ども・子育て会議 委員・専門委員 意見一覧表

【第8回会議検討施策該当分抜粋】

整理 No.	提案 委員・専門委員名	提出日等		該当施策	意見概要	別紙
7	中村委員	H25.7.30	会議発言	施策8	評価指標「シンナー等乱用少年の検挙補導者数」は、「ドラッグ」などの検挙補導者数のほうが時代にあっているのではないか。	無
64	平田専門委員	H25.12.9	意見書	施策8	施策の柱[青少年への社会体験活動等の機会や場の提供]北九大の「地域創生学科」の学生さんがされている取り組み。地域に入り込んで継続的にボランティア活動をしていけるように、まちづくり協議会が青年を受け入れるようなしくみがあったらいいと考えます。	有
62	黒木専門委員	H25.12.5	意見書	施策9	YELLについて、相談件数や業務、様々な取り組み等に対して、スタッフの人員が少ないと感じるため、人員増が必要ではないだろうか。	有
63	黒木専門委員	H25.12.5	意見書	施策9	教育関係者や保護者の多くは、YELLや若者ワークプラザ等の情報を知らない。そのため、教育機関への周知徹底が必要。(管理職や特別支援教育コーディネーターに対して、福祉に関する情報を必須研修にするなど)	有
65	平田専門委員	H25.12.9	意見書	施策9	施策の柱[若者の自立を支援する環境づくり]地域社会が社会的ひきこもりの若者について理解をする機会をもつような取り組みが必要です。	有
14	中村委員	H25.10.16	意見書	施策8 施策11	外遊び環境の充実 提案1 常設のプレイパーク等の外遊び拠点づくり 提案2 遊び・体験のNPOネットワークの活用	有
66	平田専門委員	H25.12.9	意見書	施策11	(仮称)子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業【検討中】について 小さな子どもに配慮した公園整備を進めていく。とあるが、「プレイパーク」(冒険遊び場)などの「子どもたちや地域の大人が作る」公園、焚火が出来たり子どもの想像力が広がるような場所が必要。体験、生きる力工夫が培われるような場所が保障されるべきだと考えます。	有

Bee 提案 外遊び環境の充実！プレイパークをつくる！

問題意識

Bee は、北九州市立大学構内で、2008 年から、ミニプレーパークを実施して 6 年目です。年々参加者が増え、毎年主催する「外遊び講座」受講者から、市内にも外遊びの定期開催の遊び場が増えてきました。禁止事項の少ない外で、思い切り自由に遊ぶ子どもの姿は、大人自身を変容させます。外遊びが好きになった親子は、毎回参加するようになります。(そうしたリピーターが増える一方で、外遊びをしたがらない保護者も増えてきていると実感しています。)

自然環境の中で遊び、たっぷりと五感を使って、さまざまなことに興味を持ち、いろいろな人と関わりをつくり、自分のやり方や自分のペースで、創意工夫をし、挑戦し、失敗し、それをのりこえて成長していく外遊びは、子どもにとって、本当に必須のものです。また、それをしっかり「待ち」「尊重できる」大人になることは、親育ちの一つのポイントでもあります。

冒険遊び場づくり協会のHPによると、全国的には 1998 年度には 57 団体だった活動団体数は 2012 年度には、311 団体へ増えています。しかし、市の施策としては、室内型の遊び場ばかりが増え、外遊びの重要性がメッセージとして届いていません。行政施策では、公園等のハードの整備はあげられていますが、ソフトや人材育成が伴わないために、子育てサポーターなど、行政主導の支援者育成では、外遊びの大切さが共有されず、地域で外遊びの取り組みが増えていかないと感じています。しかし、子どもの体力低下や、体験不足は待ったなしです。乳幼児期からの、親自身の育ちも含めた外遊び環境の充実をはかるべきです。

提案 1 常設のプレイパーク等の外遊び拠点づくり

市内に常設のプレイパークがあれば、そこを拠点に、外遊びの豊かさや、大切さを市民で共有することができます。拠点でノウハウの蓄積や人材育成をすすめ、それを地域に発信することで、親や、支援者など、やりたい人が地域で外遊び環境を豊かにしたい取り組みをサポートすることができます。外遊びのリソースセンターです。

福津市は、九州初の常設プレイパークづくりをすすめ、ついに、2013 年度より、週 5 日の開催となりました。宗像市も官民協働で、今年度より、常設のプレイパークがはじまりました。プレイパークは多世代が集える居場所づくりであり、そのまま地域づくりにもつながります。北九州市においても常設のプレイパークづくりを切望します。

提案 2 【遊び・体験のNPOネットワーク】の活用

NPO 法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンター Bee および、NPO 法人 KID'S Work、NPO 法人スポーツウェイヴは、【遊びと体験】をベースに外遊び環境づくりに必要な様々なプログラム提案ができます。ぜひ、行政と協働しつつ、外遊び環境づくりを充実させたいと考えています。

(様式1)

会議当日追加

北九州市子ども・子育て会議

子育て施策等に関する意見書

氏名	田中 眞弓
提出日	平成 25年 12月 12日
表題	施策8 青少年の健全育成と施策9子ども・若者の自立や立ち直りの支援
内 容	
※箇条書きで簡潔にご記入ください。本様式に納まらない場合等は別紙を添付してご提出ください。	
<p>施策8の 現状の4項目目 ◆不良行為少年・・・ 5項目目 ◆「刑法犯少年の検挙……」 7項目目 ◆「シンナー等乱用少年……」と、施策9の2項目目 ◆「刑法犯少年の検挙……」については、青少年を守るために、非行防止や犯罪防止や再犯せずに、社会での一員として、将来の希望が持てるように、合同的に指導・支援の必要があります。</p>	
<p>「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部運営事業として、大まかな取り組みは記載されていますが、代表者が出席の本部的運営の会議等だけでなく、地域での小区的(自治会区分)な取り組みをしてほしい。交番警察や民生委員児童委員、保護司、防犯委員等、地域区分での小会議(現状と対策検討会議)のようなものを設けてはいかかでしょう。</p>	
<p>非行や犯罪をした子を悪い者と判断するのではなく、非行に走ってしまう環境整備や周りの親たちの子育て意識や大人の子どもへの関心の薄さ改善の為の施策を具体的に考えていただきたいと思います。</p>	
<p>教育現場が非行少年の事で、大変な思いをしているとは聞きますが、、非行少年・不良少年の排除ではなく、どうしたら、将来に希望が持て、自分の人生を大事に生きていくことができるかという思いの中で、先生方と保護司、地域警察との連携も、もっと考えて欲しいと思います。</p>	

※事務局受付欄

受付日	・	・